

令和4年度 文学部 学校推薦型選抜  
歴史学科 小論文 出題意図

【出題意図】

出典は林健太郎『明日への歴史一人間が歴史をつくる一』（新潮社、1954年、8～12頁）で、出題は「情報との向き合い方について、あなた自身の考えを具体例を挙げながら八〇〇字以内で論じなさい。」である。これは、歴史学に携わる者が史料という情報とどのような姿勢で向き合い、歴史的事実を引きだそうとしてきたのか、出題文から読み取った上で、情報が氾濫する時代にあって、解答者自身はどのように情報と向き合っているのか、向き合おうとしているのかを論じるよう求めるものである。

評価する点は次のとおり。

- ・（受け入れるにせよ批判するにせよ）出典の内容を正しく読み取れているか。
- ・自分自身の考えを論理的に説明できているか。
- ・適切な具体例を挙示できているか。
- ・文字表記・文法・言葉の用法等、文章上の問題はないか。